

教職員の自己評価に対する外部評価書

平成20年3月5日提出

学校名	横浜市立東山田小学校
外部評価委員 (12名)	若桑徹男委員、布川美佐子委員、酒井耕作委員、大和田清一委員、高口幸守委員、武田栄二委員、平野実委員、酒井博邦委員、高橋恵美子委員、小山桜代委員、白川清美委員、前野マドカ委員
外部評価実施日	平成20年3月4日

	項目	自己評価に対する意見
1	学校経営全般・学校教育目標の実現にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方はよくがんばっていると思う。体調管理が最も大切である。 ○ 教育行政が二転三転して学校も対応が大変だと思うが、不変のところも必要ではないか。
2	子どもの学校生活について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一クラスの人数が多いので目が行き届きにくい面があるのではないか。工夫が必要。 ○ 勉強ができる子の意見を聞くだけでなく、大勢の子ども達が考えられる授業をめざしてほしい。
3	学習指導・特別支援教育・食教育について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数や習熟度などの工夫をして学力の向上に努めて欲しい。 ○ 配慮の必要な子どもが増えているように感じる。その対応には何よりも先生を増やすことが大切である。委員会等に強く訴えて欲しい。
4	児童指導・人権教育について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶は少しずつ良くなってきている。顔見知りではない子に挨拶されたりして、学校の取り組みの良さを感じている。 ○ ルールを守ることは常に指導を続けて欲しい。
5	保護者・地域との連携、幼保中交流について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども達の地域行事への参加が少ないという評価だが、そうでもない。むしろ先生方がもう少し参加してくれると嬉しい。
6	学校組織・運営について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な情報の共有の実現度が低い点が、子ども達の様子であるとしたら問題である。子ども様子はできるだけ共通理解しておいて欲しい。
7	教職員研修・授業力の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ○ たくさんの時間を割いて、数多くの研修に行くのだから、その成果を伝え合い、できるだけ多くの先生達が学べるよう工夫できると良いと思う。